

既存試料・情報を用いる研究についての情報公開

本学では、医学系研究に協力して下さる方々（以下研究対象者）の利益と安全を守り、安心して研究に参加していただくように心がけております。こちらに記載されている研究については、研究・診療等により収集・保存された既存試料・情報を用いる研究で、直接研究対象者からインフォームド・コンセントを取得することが困難であるため、情報公開をさせていただいております。

こちらの文書は研究対象者の皆様に、情報公開をするとともに、可能な限り研究参加を拒否または同意撤回の機会を保障する為のものになります。

なお、研究参加を拒否または同意撤回されても一切の不利益はないことを明記させていただきます。

受付番号	(倫理・先進・ゲノム) 第 2877 号
研究課題	ポストコロナの地域医療特別実習の教育的効果とコミュニティへの視点に関する研究
本研究の実施体制	本研究は、熊本大学病院 地域医療・総合診療実践学寄附講座にて行われ、同講座 特任助教 佐土原 道人が研究責任者として、研究の計画、実施、解析、発表、データの管理がなされます。
本研究の目的及び意義	<p>熊本県地域医療援センター／地域医療・総合診療実践学寄附講座は、熊本大学医学部医学科の医師修学資金貸与学生と熊本県出身自治医科大学学生等を対象とし、熊本県下の各地域で、現地を訪問し体験実習を2泊3日の合宿形式で行う『地域医療特別実習』を行ってきました。新型コロナウイルス感染症の流行により、2019年を最後に中断、2023年8月に再開となりました。この実習は、将来の勤務可能性のある地域に赴いて、「地域を知る」のが目的です。地域医療の教育は、その地域や現場を実際に見ることが不可欠ですが、この度開催する2023年12月の冬季地域医療特別実習は、先行して行われた8月夏季地域医療特別実習で取り入れたコロナ禍で普及したオンラインやインターネット技術を活用して、1泊2日でもより効率良く運営する方法を踏襲し、教育効果を高めるよう工夫してあります。</p> <p>本研究は、この冬季地域医療特別実習に参加する皆様に、例年行ってきたアンケートにご回答頂くことにより、実習前後での教育効果、コミュニティへの視点の変化を解析することに加え、これまでの夏季地域医療特別実習の際に施行されたアンケート結果との比較より、ポストコロナ時代の地域医療特別実習のあり方を模索するものです。</p>
研究の方法	<p>この研究では、2023年12月25日、26日の両日、阿蘇地域で実施される、冬季地域医療特別実習「阿蘇地域」で、実習開始前と開始後に行うアンケート（それぞれ、『冬季地域医療特別実習「阿蘇地域」プレ・アンケート』、『同ポスト・アンケート』）と『冬季地域医療特別実習「阿蘇地域」実習評価と振り返り』に参加の皆様にご回答いただき、その内容を実習の前後と比較します。同時に、それらの結果を、以前の地域医療特別実習の際に実施されたアンケート結果と比較して、新型コロナウイルス感染症パンデミック前後での実習のなされ方を考察します。アンケートの実施・解析・管理、および、以前の地域医療特別実習報告者から得られた情報の解析・管理は、地域特別実習を主催する熊本大学病院地域医療・総合診療実践学寄附講座によって行われます。</p> <p>この研究成果は、「2023年度冬季地域医療特別実習報告書」の一部として掲載、また、医学教育、総合診療、地域医療関連の学会発表、論文投稿の予定です。</p>

研究期間

この研究は、2023年12月25日、26日の両日、阿蘇地域で実施される冬季地域医療特別実習「阿蘇地域」の際に実施するアンケート調査との比較するために以前の地域医療特別実習の報告書を使用します。解析は、2023年度中に、熊本大学病院地域医療・総合診療実践学寄附講座にて行われます。

研究期間は、2023年12月25日より2025年3月31日までとなります。

試料・情報の取得期間

これまでの夏季地域医療特別実習に参加頂いた方には、その際に行われたアンケートや実習成果発表の内容、実習の振り返りの内容を頂き、編集し、下記報告書として発刊しております。

2023年8月16日ー17日 夏季地域医療特別実習（上天草地域）

2019年8月16日ー17日 夏季地域医療特別実習（上球磨地域）

2018年8月16日ー18日 夏季地域医療特別実習（水俣・葦北）

2017年8月16日ー17日 夏季地域医療特別実習（天草地域）

研究に利用する試料・情報

研究に使用させていただく情報は以下の通りです。

- 「令和5年度夏季地域医療特別実習報告書」および、同実習にて施行した『夏季地域医療特別実習「上天草地域」ブレ・アンケート』、『同ポスト・アンケート』と『夏季地域医療特別実習「上天草地域」実習評価と振り返り』
- 「令和元年度夏季地域医療特別実習報告書」
- 「平成30年度夏季地域医療特別実習報告書」
- 「平成29年度夏季地域医療特別実習報告書」

これらの地域医療特別実習の報告者は、既に製本され、関係各所にも配付されているものです。熊本大学病院地域医療・総合診療実践学寄附講座の活動の資料、バックナンバーとして保管されているものです。これらの報告書の内容から、個人情報が特定できる項目を除いた情報を研修に使用させていただきます。また、令和5年度夏季地域医療特別実習報告書の際に施行した『夏季地域医療特別実習「上天草地域」ブレ・アンケート』、『同ポスト・アンケート』と『夏季地域医療特別実習「上天草地域」実習評価と振り返り』自体は、報告書完成後の年度末の2024年3月31日を以て破棄されますが、個人情報を除いたこれらのアンケートのデータは、熊本大学病院地域医療・総合診療実践学寄附講座の特定のコンピュータにて保管され、本研究が終わる2025年3月31日までに電磁的に破棄されます。

保管担当者は、研究責任者である地域医療・総合診療実践学寄附講座 佐土原 道人が行います。

個人情報の取扱い

アンケート回答の際は、氏名、性別、所属大学をお伺っており、特別実習報告書にも、実習の発表者名、所属大学、学年が記載されておりますが、データ解析の時点では個人情報と切り離された通し番号記号で管理されます。データの管理は、熊本大学病院地域医療・総合診療実践学寄附講座のパスワードのかかった特定の研究用のコンピュータで管理されます。これまでの特別実習報告書やアンケートで得られた個人情報や特定の団体に関する内容は、適宜、抽象化、言い換え、置換、削除を行い、個人情報や特定の団体が特定されないことがない形式で研究成果の発表を行います。個人情報を外部機関に提供することはありません。

研究成果に関する情報の開示・報告・閲覧の方法

本研究にご協力頂いた方への内容や解析結果の直接のフィードバックはありませんが、研究成果の一部の報告は、「2023

年度冬季地域医療特別実習報告書」、医学教育、総合診療、地域医療関連の学会発表、論文投稿によって行います。アンケート調査の結果を、個々に、ご自身や関係者に直接返すことはありません。

研究に関する情報の開示は、個人情報や研究者の知的財産保護の観点から制限がない限り、お答えいたしますので、下記まで直接ご連絡ください。

この研究はアンケートによる観察研究なので、この研究によって偶然見つかったことが、ご協力頂いた方の学業成績や評価、血縁・子孫の健康が左右されることもありません。

利益相反について

この研究は、主催団体である地域医療支援機構／熊本大学病院地域医療・総合診療実践学寄附講座が主催する地域医療特別実習の場を利用して行いますが、研究に関して直接の資金提供はなく、他の利益相反のある団体もありません。

本研究は、利益相反審査委員会の承認を得ており、利益相反を適切に管理し、公正かつ健全な研究を遂行し、研究対象者の利益を優先いたします。

本研究参加へのお断りの申し出について

これまで既に発刊された「夏季地域医療特別実習」の内容、令和5年度夏季地域医療特別実習報告書の際に施行した『夏季地域医療特別実習「上天草地域」プレ・アンケート』、『同ポスト・アンケート』と『夏季地域医療特別実習「上天草地域」実習評価と振り返り』の使用をご希望されない場合には、下記までご連絡ください。参加の同意撤回が可能です。同意を撤回されても、医学部の正規のカリキュラムでの評価も含め、いかなる不利益もありません。

本研究に関する問い合わせ

本研究に対するお問い合わせ先は、下記の通りです。

熊本大学病院 地域医療・総合診療実践学寄附講座

担当者：佐土原 道人

電話番号：096-373-5794

E-mail: msadohara@kumamoto-u.ac.jp

個人情報や研究者の知的財産保護の観点から制限がない限り、お答えいたします。